



栃木県職員募集案内2025

自分のやりたい、やってみたいを仕事に



ホームページはこちら



知事メッセージ



栃木県は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして半世紀以上にわたり生産量日本一のいちごをはじめとする多彩な食など、多くの魅力にあふれています。都心へのアクセスも良く、様々な産業がバランス良く発展しており、一人当たりの県民所得は全国第5位という実力も併せ持っています。

一方で、社会経済情勢が大きく変化する中、人口減少・少子高齢化の進行や広域化・激甚化する災害への対応など、多様化・複雑化した課題も多いのが現状です。

このような中、「とちぎ未来創造プラン」に掲げる本県の将来像「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するためには、県民目線に立ちながら、スピード感を持って、前例にとらわれず挑戦していく必要があります。

「栃木県職員ガイド」は、栃木県の魅力・実力に更なる磨きをかけるために活躍している職員を紹介することで、県職員を目指している方・関心のある方が、その業務等について理解を深めていただくために作成したものです。

県民が安全で安心に暮らせる「とちぎ」、日本のみならず世界から選ばれる「新しいとちぎ」をつくるために、皆さんの力とアイデアが必要です。

ぜひ一緒に、「とちぎ」の未来をつくっていきましょう。

令和7(2025)年2月

栃木県知事 福田 富一

採用イベント情報

「県庁就活ナビゲーター」利用者募集 (令和7(2025)年1月スタート!)

栃木県庁の仕事について詳しく知りたい方を対象に、先輩職員(県庁就活ナビゲーター)を独占して個別相談ができます。

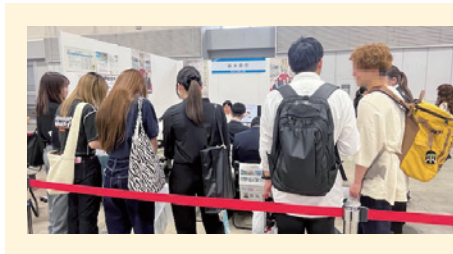
希望日時に合わせて実施しますので、県庁で働くことに興味のある方はぜひ活用してください!

対象者 将来、栃木県職員になりたい(又は考えている)方
・高校1年生以上が利用可能
・県職員採用試験等の申込み～最終合格発表までは利用不可
・最終合格者の方の利用もOK!

実施方法 対面(栃木県本庁舎等)又はオンライン

実施日時 ・申込みの日から2週間先の日付を選択してもらい、調整して決定
・30分間程度(平日9時～17時まで)

詳細は
ホームページを
チェック



座談会「トークカフェ」随時開催

栃木県職員として働くことに興味がある方を対象に、県職員の仕事内容やワーク・ライフ・バランスについてのフリートークを行うトークカフェを開催しています。

各回10人前後とアットホームな雰囲気で開催しています。県職員と気軽にお話できる機会ですので、ぜひ参加してください。

このほか、人事委員会事務局では、各採用試験等の日程や概要、職種別の業務内容についての説明会も開催しています。

トークカフェなどの開催に当たっては、ホームページやX、InstagramなどのSNSでお知らせしています。ぜひチェックしてください!



ホームページ



X



Instagram

本冊子で紹介する職員のメッセージもさらに詳しく掲載!

栃木県が求める人材

高い意欲と
実行力を備えた

「挑戦する職員」

栃木県職員としての
使命感を持った

「信頼される職員」

県民起点の発想で、
県民と連携協力できる

「協働する職員」

採用情報

試験日程・種目

令和7(2025)年2月現在の予定(詳細は、ホームページで公表する各受験案内等で御確認ください。)

試験区分※1		受験対象年齢	実施予定時期		第1次試験		第2次試験	
			第1次試験	最終合格	教養試験	専門試験	論作文試験	口述試験
大学卒業程度	早期枠	21～28歳	4月初旬～中旬 テストセンター	6月2日	●		●	●
	通常枠	21～28(31)歳 ※2	6月中旬	8月中旬	●	●	●	●
高校卒業程度		17～20歳	9月下旬	10月下旬	●	● (一部職種のみ)	●	●
社会人対象		29～60歳 ※2	7月 テストセンター	10月下旬	●		●	●
障害者を対象とする 選考考査		17～31歳	11月上旬	12月中旬	●		●	●

※1 記載の試験区分は代表的なものです。原則学歴に関係なく受験できます。

※2 職種に応じて受験対象年齢が異なります。

テストセンター方式とは 外部の試験会場(テストセンター)で、パソコンを使用して実施する試験

ポイント1

試験期間内の都合の
良い日に受験可能!

試験期間内であれば自分の都合に
合わせて受験日時が選択できます。

ポイント2

近くの会場で受験可能!

47都道府県約350か所の会場から選択できます。
栃木県に来なくてもOK!

遠方にお住まいの方、
社会人の方も受験しやすくなります。



採用までの流れ



※任命権者は、知事、教育長、警察本部長などです。試験合格後の具体的な採用に関する事務は、各任命権者の採用事務担当課が行います。

ワーク・ライフ・バランスの推進

栃木県では、全ての職員が仕事と生活の両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」を実現し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。



勤務条件

勤務時間

- ・原則、午前8時30分から午後5時15分まで
- ※一部の職場を除き、時差出勤を選択可能（午前7時から午前10時までの間で30分ごとに勤務開始時間を変更）

休日・休暇

- ・完全週休2日制、原則として土・日曜日が週休日
- ・年次休暇(有給休暇):年度ごとに20日が付与
- ・各種の特別休暇あり (例)夏季休暇:6月~10月に6日付与
結婚休暇:結婚前後に最大7日
- ・その他、介護休暇、育児休業制度等あり

テレワーク

- ・業務内容に応じ、テレワーク(自宅やサテライトオフィスでの勤務)の実施を推進
- ・職員一人ひとりにモバイルPCを貸与、庁外においてもネットワーク接続可能



福利厚生

地方職員共済組合の短期給付(健康保険)と長期給付(年金)のほか、次のような事業を実施しています。

健康管理事業

- ・健康診断:定期健康診断(全職員対象・年1回)、人間ドック、婦人科検診
- ・健康相談:歯の健康相談等
- ・健康教室:健康増進及び疾病予防の講演等 など

元気回復事業

- ・スポーツ大会(ワンタッチバレーボール、ソフトボール)
- ・各種レクリエーション事業(動物園・水族館等の観光施設や県内プロスポーツ観戦等の案内(有償または無償)、コンサート等の特別優待など)
- ・サークル運営助成(認定サークルへの助成) など

貸付事業

- ・住宅購入、生活用品購入などのために、資金を貸付

その他

- ・公務災害に認定された場合の様々な補償
- ・宇都宮市内の職員住宅への入居



ソフトボール大会



観光施設入場券配布事業

ワーク・ライフ・バランス実践中!

環境森林部 林業木材産業課 木材産業担当
平成27年度入庁



Q 仕事とプライベート(県バスケットボール協会委員)をうまく両立させているようですね。詳しく教えてください。

小学校から社会人になるまでバスケットボール競技を続けていたのですが、縁あって研修に参加させていただいてから、かれこれ10年近く、県バスケットボール協会 TO(テーブルオフィシャルズ)委員会のスタッツ委員として活動しています。Bリーグのシーズン中は、月2回程度、宇都宮ブレックスのホームゲームなどで活動しています。

Q 仕事とプライベートの両立を図る上で、栃木県庁はどのような職場だと思いますか。

仕事とプライベートの両立が実現しやすい職場だと思います。用事のあるなしに関わらず、休暇なども取りやすいですし、周りの職員もプライベートを充実させつつ、仕事にもきっちり取り組んでいます。勤務時間を変更し、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方も可能です。

Q 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

栃木県庁は働き方改革が進み、制度も意識も変わってきています。仕事もプライベートも充実させたい方にオススメできる職場です。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。

ある1日の タイムテーブル

- 6:00 起床
- 6:30 朝食・出勤準備
- 7:20 出勤(バス)
- 8:00 勤務開始
- 16:45 退庁(バス)
- 17:30 帰宅
- 18:30 夕食
- 19:30 勉強等
- 20:30 自由時間
- 22:30 就寝



仕事と子育ての両立支援

栃木県では、性別に関係なく、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働ける職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。



●子育てを応援する休暇制度等

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等	産前8週	出産	産後2週	産後8週	1歳	2歳	3歳	小学校就学	小学校4年生	中学校就学
出産休暇(産前産後休暇)		●	産前8週間、産後8週間	■									
妻の出産時の休暇	●		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内 時間単位の取得も可能	■									
妻の出産時の子の養育休暇	●		出産予定日の8週間前から出産の日以後1年の間で5日の範囲内 時間単位の取得も可能	■									
育児休業	●	●	こどもが3歳に達する日まで			■							
育児のための部分休業	●	●	小学校就学前のこどもを養育する場合: 1日を通じて2時間を超えない範囲内			■							
育児短時間勤務	●	●	小学校就学前のこどもを養育する場合: 希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能			■							
育児時間休暇	●	●	2歳未満のこどもを養育する場合: 1日2回を超えず合計90分の範囲内			■							
子の看護休暇	●	●	中学校就学前のこどもを看護する場合: 5日の範囲内(小学校就学前のこどもが複数いる場合は10日) 時間単位の取得も可能			■							
フレックスタイム制	●	●	小学校4年生までのこどもを養育する場合: 所定の期間内における1週間当たりの勤務時間が38時間 45分となるように1日の勤務時間を割り振ることが可能			■							

●育児休業等取得状況

令和6(2024)年度男性目標値100%

(1)育児休業取得率

	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度
男性職員	85.0%	40.6%
女性職員	98.0%	100.0%

※教育委員会、企業局及び警察本部を除く

(2)男性職員の子育て目的の休暇取得率

	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度
妻の出産時の休暇	92.8%	92.3%
妻の出産時の子の養育休暇	67.5%	65.4%

※教育委員会、警察本部を除く

仕事と子育て両立中!

県土整備部 用地課 指導調整担当
平成29年度入庁



Q 育児休業を取得しようとしたきっかけを教えてください。また、育児休業を取ることに對して、職場の雰囲気はどうでしたか?

妻が第一子を出産し、実家から戻ってくるタイミングで現在の住まいに引っ越したのですが、環境の変化に伴う妻の負担や不安を少しでも軽減できればと思い、育児休業を取得しました。育児休業の取得に当たっては、職場の皆さまの温かいサポートがあり、業務の引継等も快く引き受けてくださったので、休業中は育児に専念することができました。

Q 配偶者との家事・育児の役割分担など、仕事と生活を両立するために心掛けていることを教えてください。

平日は、早く帰宅できるよう業務に区切りをつけ、保育園の送りやこどもの入浴・寝かしつけ等は私、保育園の迎えや夕食の準備等は妻、朝食の準備は交代で行うなどの役割分担をしています。休日は、お互いの両親に子育てを手助けしてもらい、なるべく家族で負担を分散して、日々楽しく過ごせるように心掛けています。

Q 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

栃木県庁の業務は多岐に渡りますが、組織で協力して行うものも多く、お互いに助け合いながら自分らしさを生かして働ける職場だと思います。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしております!

ある1日の タイムテーブル

6:00	起床・朝食・登園準備
7:30	保育園送り・出勤
9:00	勤務開始
17:00	保育園迎え(妻)
18:30	帰宅・夕食
20:30	こどもと入浴
21:00	寝かしつけ
22:00	自由時間 (翌日準備等)
23:00	就寝



採用情報トピックス

各種試験や先輩職員のインタビューを掲載

大学卒業程度(早期卒)試験 R7年度募集職種:行政・林業^{new}・総合土木

ポイント1

専門試験なし

第1次試験は、基礎能力検査(SCOA)をテストセンター方式で実施します。専門試験はありませんので、民間企業を志望している方も受験がしやすい試験です。
※技術職については、第2次試験で専門分野について質疑応答を行うプレゼンテーション面接を実施します。

ポイント2

原則6月1日に合格決定

最終合格発表は、通常の大学卒業程度試験より2か月半早い6月1日(6月第1営業日)です。

また、6月に実施する通常の大学卒業程度試験と併願が可能です。

思いやりが自己成長と栃木の未来につながる!!

行政

経営管理部 宇都宮県税事務所 課税部 不動産取得税課
令和6年度入庁



Q 採用試験のハードルはどのように感じましたか。

私は、民間企業と併願して就職活動を行っていましたが、特別卒(現早期卒)の基礎能力検査は民間企業でも使われている試験であり、専門試験がなかったことから、特別な対策を行うことなく、気負わずに受験することができました。面接試験についても、民間企業と同じような形式であり、「栃木のために尽力したい」という思いを落ち着いて伝えることを心掛けました。試験の時期が早いため、通常卒の受験を考えている方にとっても、大きな負担にならずに挑戦できる試験だと思います。



Q 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

行政は、数年ごとの異動により様々な部署を経験できるため、自分の可能性を広げ、県庁内外のつながりを深められることが魅力だと思います。自然豊かで穏やかな栃木県の中核に位置する栃木県庁は、温かく生き生きとした職場です。ぜひ、栃木県のこれからを一緒に作りましょう!



高校卒業程度試験

R7年度募集職種:行政・総合土木・電気・警察行政・小中学校事務

ポイント1

多くの職種で実施

R6年度において、事務系職種は、行政、警察行政、小中学校事務の3職種、技術系職種は、総合土木、電気、建築(警察本部)の3職種で採用試験を実施しました。

※最新の試験の募集職種については、受験案内等で御確認ください。

ポイント2

事務系職種は専門試験なし

事務系職種は、第1次試験に専門試験がありませんので、受験がしやすい試験です。

技術系職種については、各職種に応じた専門的知識及び能力について問う専門試験を行います。

環境に優しい水力発電で栃木県を美しく

電気

企業局 今市発電管理事務所 施設第二課
令和4年度入庁



Q 栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

私たちの生活に欠かせないインフラを整備し、生まれ育った栃木県に貢献したいと考えたのが志望のきっかけです。また、自分が今までに学んだ専門的知識を生かして、暮らしやすい社会を作り、住民の生活を支えることができる点に魅力を感じたのも理由の一つです。さらに、地元の市町村だけでなく、県全体の事業に携わりたいという思いから、県職員を選択しました。



Q 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

県職員は、住民の暮らしを支えることができ、責任感とやりがいを感じられる仕事です。また、休暇や手当などの福利厚生が充実しており、ワーク・ライフ・バランスを重視した働き方ができます。県職員になって、県民の生活に貢献してみませんか。



社会人対象採用試験

R7年度募集職種：行政・化学・農業・林業・総合土木・電気 new・警察行政・保健師

ポイント1

専門試験なし

いずれの職種も社会人経験等を重視しますので、第1次試験はテストセンター方式で実施し、基礎能力検査(SCOA)のみで専門試験はありません。

なお、技術職については、各職種に応じた専門性を確認する面接試験を第2次試験で実施します。

ポイント2

60歳まで受験可能

60歳まで受験可能となります。(警察行政は除く)

なお、技術職については、各職種に係る3年以上の職務経験が必要となります。

詳細はこちら



未来につながるおとぎづくり!

行政

危機管理防災局 消防防災課 消防救急担当
令和3年度入庁



Q採用試験のハードルはどのように感じましたか。

法律や行政学などの専門試験がなかったため、公務員に特化した試験勉強は不要でした。働きながらも試験対策がしやすかったです。

社会人としてどのような経験を積んできたか、それによって自分がどのように成長してきたかなど、自分自身を見つめ直す良い機会にもなりました。

Q県職員の福利厚生は充実していると思いますか？

とても充実していると思います。

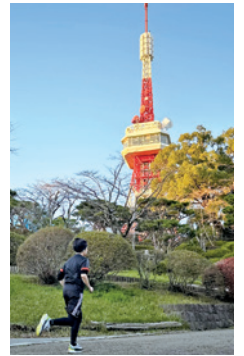
しっかりとした制度が整備されているので、安心して働くことができます。

有給休暇等の積極的な取得が推奨されているので、家族と過ごす時間や趣味に充てる時間が増えて、プライベートも充実できています。

Q社会人対象採用試験の受験者へのメッセージをお願いします。

新たなチャレンジを不安に感じてしまうことも多いと思いますが、栃木県庁は社会人の経験を大いに生かせる職場です。

栃木県庁で待っています!!



地域に暮らす皆さまの健康を守ります。

保健師

保健福祉部 安足健康福祉センター 健康対策課
令和6年度入庁



Q採用試験のハードルはどのように感じましたか。

専門知識を問われる試験の内容は、論文試験と口述試験であり、これまでに培った知識や経験をアピールすることができました。基礎能力検査に対しては、問題集を買って少しずつ勉強をしました。問題の形式に慣れたことで、本番では落ち着いて解くことができました。

Q栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

私は、看護師として経験を積んできましたが、いずれは保健師として人々の生活に近いところで働きたいと思っていました。しかしながら、保健師の採用には年齢制限を設けている自治体が多く、叶わずにいました。そうした中、4年前から夫の仕事の都合により栃木県で暮らすようになり、県庁で保健師の社会人採用が開始されたのを知って、チャレンジしました。

Q社会人対象採用試験の受験者へのメッセージをお願いします。

これまでの経験を生かしながらも、新しいことを学べ、充実した日々を送っています。皆さまと一緒に働くことを楽しみにしています。



スマートフォンで読み取ることで、先輩職員の経歴や仕事のやりがいなど、詳しいインタビュー記事を見ることができます！

栃木県職員職種一覧

主な職種を掲載しています。
(掲載していない職種もあります。)

行政

2,699人

各種施策の企画立案や、予算編成・執行、庶務などの内部管理業務から、各種事業の推進、県税の賦課徴収、公共事業の用地交渉、許認可などの対外的な業務まで様々な分野で幅広い業務に従事します。

●主な勤務場所

知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校



▲外部機関とのリモート会議



▲観光プロモーション



▲移住・定住に関する相談会



▲防災図上総合訓練

とちぎの商業・サービス業を支えます！

産業労働観光部
経営支援課
商業活性化担当
令和6年度入庁



主に、創業希望者の支援やサービス産業に関わる中小企業を支援する業務を担当しています。具体的には、創業に必要な基礎知識習得のためのセミナー開催や、県・コンサルタント業者・商工団体の3者で連携しながら、企業の成長に向けて、商品・サービスの磨き上げ、組織力の向上を図るための伴走支援に取り組んでいます。

職場は、先輩職員や上司とも気兼ねなく話し合える雰囲気なので、仕事の疑問点についても、積極的に相談しながら、円滑に業務を進めることができます。



統計データから分かる“とちぎ”の魅力を発信中！

生活文化スポーツ部
統計課
生活産業統計担当
平成11年度入庁

(障害者対象
選考考査)



統計課では、行政施策の立案や評価、国民・企業の意思決定等の基盤となる重要な情報の統計調査を担当しています。担当している主な調査は、幼児や児童、生徒の発育や健康状態を調査する学校保健統計調査、農林業の生産構造や就業構造、農山村の実態とその変化を明らかにする農林業センサスです。大きな調査があるときは、担当全員で取り組むため連帯感もあり、報告や連絡、相談がしやすく、大変居心地の良い雰囲気です。



行政(福祉型)

23人

児童相談所における児童虐待の防止や児童・保護者への支援・指導、健康福祉センターでの生活困窮者等への支援を行うほか、福祉に関する各種施策の企画立案や推進を行います。

●主な勤務場所

児童相談所、健康福祉センター(福祉事務所)、健康福祉課、高齢対策課、障害福祉課、こども政策課



▲福祉に関する相談対応



▲保護者との面談

多くの知識を身につけ、社会に還元することができる！

保健福祉部
県南健康福祉センター
総務福祉部
生活福祉課
令和4年度入庁



生活保護業務を担当しています。生活保護を受給している方の状況に応じ、日常生活の自立・社会生活の自立・経済的自立に向けて支援しています。具体的には、生活状況を確認するための訪問や保護費の支給等です。生活面での様々な分野に関わるため、幅広い知識が身につきます。職場の雰囲気は、皆が同じ業務を行っているため、先輩・後輩関係なく、とても相談しやすいです。



警察行政

464人(定数)

組織の運営企画、人事、予算管理や交通安全対策のほか、各種犯罪における証拠品の鑑定、システム開発などの専門的な分野から警察組織運営を支え、栃木県の治安を守る重要な役割を担います。

●主な勤務場所

警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校



▲指紋の鑑定



▲自動車運転の運動能力検査

警察官と共に私たちのふるさと“とちぎ”を守ります！

警察本部
警務部
会計課
調度係
平成25年度入庁



警察活動に必要な物品の調達・管理を行う調度係で勤務しています。主な担当業務は、パトカーなどの車両や警察官の制服、また、災害活動に必要な資機材の調達です。係の雰囲気は和気あいあいとしており、問題にも一致団結して取り組み、困ったときには必ず手を差し伸べてくれる職場です。

警察行政を目指す方へのメッセージ

警察官と警察行政職員のどちらが欠けても栃木県は守れません。幅が広い警察行政の仕事を通じて、安心・安全に暮らせる栃木県と一緒に支え、守っていきましょう！



農業

359人

農業施策の企画立案、農業の担い手の確保・育成や農地の利用集積、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。

●主な勤務場所

農政部各課、農業振興事務所、農業総合研究センター、農業大学校



▲いちごの生育調査



▲梨(にっこり)の海外プロモーション

農業者と共に!栃木県の農業を未来につなげます

農政部
農政課
農政戦略推進室
平成27年度入庁



近年、温暖化による気候変動の影響が問題になっていますが、栃木県の農業においても、農作物や農業施設が被災する農業気象災害が毎年のように発生しています。このような中、農業気象災害を未然に防止するための業務を担当しています。

職場は、業務のノウハウを始め、自身の経験を惜しみなく教えてくださる方が多く、何事も相談できる安心感があります。また、同年代や女性職員も多く、過



畜産

67人

畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など、畜産業の振興に関する企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。

●主な勤務場所

畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター



▲畜産農家の肉牛の発育状況確認



▲研究施設での豚の発育調査

とちぎの畜産の未来を共に築く!

農政部
芳賀農業振興事務所
経営普及部
農畜産課
平成28年度入庁



普及指導員として、直接農業者に接して農業技術・経営に関する支援を行っています。例えば、肉用牛がどのくらい成長しているかを調査し、その結果を基に、飼養管理や経営の改善ポイントをアドバイスしています。

農業振興事務所は、経験豊かな先輩をはじめ、若手の職員も多く所属しています。また、畜産だけでなく、農業や行政といった職種の職員がいるため、様々な方と楽しくコミュニケーションを取ることができ



林業

185人

森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。

●主な勤務場所

環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター、林業大学校



▲スマート林業技術の普及



▲災害復旧に向けた測量

栃木の森林・林業を守り、育てます!

環境森林部
県北環境森林事務所
森づくり第二課
平成26年度入庁



現在は、県北地域で治山業務を担当しています。山崩れが発生した箇所を工事で復旧し、森林を回復させる手助けをすることで、地域の安全安心に寄与する仕事です。主に計画地の調査・測量から設計、工事の発注、現場監督を行っています。

現在の職場は若手職員の割合が高く、治山業務の経験が多くない中で事業を進めていく難しさはありますが、話し合いやすい雰囲気です。仕事でできてい



化学

111人

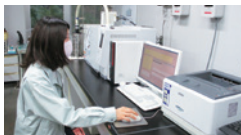
産業廃棄物や気候変動などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。

●主な勤務場所

環境森林政策課、気候変動対策課、環境保全課、資源循環推進課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター



▲異常水質の調査



▲分析業務

とちぎの環境保全を県民と共に!

環境森林部
環境保全課
水環境担当
平成22年度入庁



土壌汚染や地下水汚染の対策、これまで規制されていなかった新たな化学物質の対策など、とちぎの環境保全に関する業務を担当しています。具体的には、環境関係法令に基づく事務のほか、県内の河川や地下水の調査計画の立案、調査に必要な予算の確保などを行っています。職場は、職員同士の意思疎通がしやすく、また、上司への相談も気軽にでき、とても仕事がしやすい雰囲気です。困難な業務にも、職員が一体となって対応することができます。



総合土木

284人

平成24(2012)年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された人は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。

●主な勤務場所

主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します



▲快適で安全な道づくり



▲ほ場整備事業の完成

総合土木 採用メモ

幅広く採用試験を実施しています。

- ・早期卒(受験可能年齢 21~28歳)
- ・大学卒業程度(21~28歳)
- ・高校卒業程度(17~20歳)
- ・社会人対象(29~60歳)

早期卒、社会人対象については、第1次試験で専門試験はありません。(テストセンター方式を導入しています。)

詳細や最新の情報は、ホームページを御確認ください。

土木 254人

県土づくりに関する企画や計画策定、許認可等を行うとともに、道路、河川等の社会資本の整備・保全や、これらの施設の維持管理、さらに大雨や地震などの異常気象時の緊急対応も担っています。

●主な勤務場所

県土整備部各課、土木事務所、下水道管理事務所、企業局



▲ボックスカルバートの工事立ち会い



▲コンサルタントとの道路設計打合せ

とちぎの未来を築くインフラづくり

県土整備部
技術管理課
技術調整担当
平成30年度入庁



道路や河川等の工事の予定価格を積算する上で必要となる基準や、業務効率化に関する施策の企画・立案、県土整備部内や関係団体との情報共有などに関する各種会議の調整をしています。また、建設業の魅力発信や、建設業における女性の就職促進を目的とした活動の支援なども行っています。

職場の同僚や先輩、上司はとても頼りになり、仕事の悩みも気軽に相談できます。和やかな雰囲気、風通しの良い環境です。



農業土木 78人

農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村振興、農村環境整備などの業務に従事します。

●主な勤務場所

農村振興課、農地整備課、農業振興事務所



▲農業用水利施設(頭首工)の整備改修



▲地域資源保全活動(生き物調査)

とちぎの豊かな農業・農村を次世代へつなぐ!

農政部
農村振興課
農村環境担当
平成25年度入庁



草刈りや堀さらいなどの農村地域の共同活動を支援する交付金を担当しています。農業者の減少や高齢化を見据え、新しい形の草刈り体制(高機能草刈機の導入や草刈隊の結成)を推進しているところです。また、農村地域のカーボンニュートラルの実現に向け、農業用水路を活用した小水力発電などの再生可能エネルギーの推進も担当しています。職場は、気軽に仕事の相談ができ、とても働きやすい環境です。



建築

78人

県有施設(庁舎・学校・県営住宅など)の整備や長寿命化、建築確認・開発許可の指導、建築物の耐震化の推進、あき家対策や良質な住まいづくりに関する業務など、県民生活に密接な分野で専門的な技術や知識を生かした業務を行います。

●主な勤務場所

建築課、住宅課、都市政策課、教育委員会施設課



▲BIMによる設計検討会



▲建築工事現場監督

まちづくりから建築物の設計まで!

県土整備部
技術管理課
技術調整担当
平成24年度入庁



県土整備部では、県有施設の新築や改修に当たり、施設を管理している部局からの依頼を受けて設計や工事の発注を行っています。私たちの部署では、各案件の実施方法について調整する役割を担っています。さらに、工事等の入札制度の検討や、国や他の自治体との技術的な調整業務も担当しています。

現在の職場は、土木職が大半を占めており、建築職は2名と少数ですが、とてもアットホームな雰囲気、職種を越えた交流が盛んに行われています。



電気

93人

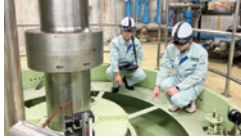
公営企業の経営に関する企画立案、発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。

●主な勤務場所

企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)、計量検定所、産業技術センター、建築課、管財課



▲発電所・ダム の監視制御



▲発電所水車室内の点検

電気と水の安定供給でライフラインを支えます

企業局
今市発電管理事務所
板室管理支所
平成28年度入庁



県営の水力発電所で発電した環境にやさしいクリーンな電気を安定供給するため、水力発電所の維持管理や大規模改修を行っています。県民の生活に欠かせないライフラインであることから大きな責任と地域に貢献するやりがいのある仕事です。

企業局には、電気職の職員が多く配属しており、分からないことも気軽に相談できるとも働きやすい職場です。



機械

67人

中小企業等の新製品開発や技術高度化を支援するため、試験研究機関での研究・技術相談等を行うほか、産業技術専門学校において、ものづくり人材の育成を行います。また、県有施設の設備の設計・営繕などを行います。

●主な勤務場所

産業技術センター、計量検定所、産業技術専門学校、建築課、企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)



▲精密部品の三次元座標測定



▲浄水場の機械点検

県内ものづくり企業と共に成長できる

産業労働観光部
産業技術センター
機械電子技術部
令和3年度入庁



ものづくり企業に対して技術的支援を行う産業技術センターで、企業が抱える課題の解決に向けた技術的相談の対応や、センターが保有する機器を用いた試験、研究などを行っています。私は、主に金属の組織観察を担当しており、新材料開発のための試験、不具合品の原因調査など、企業からの様々な依頼を受けて業務を行います。扱う金属の種類はとて多く、ときには壁にぶつかってしまいますが、職員同士で気軽に話し合える職場なので乗り越えられています。



心理

59人

児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。

●主な勤務場所

児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、障害者総合相談所



▲子どもへのプレイセラピー



▲児童・保護者との面接

県民の心の健康を守るスペシャリスト!

保健福祉部
中央児童相談所
判定指導課
平成31年度入庁



児童相談所では、児童に関するあらゆる相談を受理します。中でも私は、療育手帳の判定、非行少年との面接、被虐待児のケアのための心理教育やグループワークなどを中心に業務を行っています。また、児童養護施設に対する処遇力向上のため、研修の企画・運営も担っています。職場には、心理以外の職種の職員も多く、他職種と連携し、ときには課の垣根を越えて業務に当たります。チームで仕事をしていると実感できる職場です。



保健師

132人

地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体の健康を守る仕事です。

●主な勤務場所

保健福祉課、医療政策課、健康増進課、感染症対策課、健康福祉センター、衛生福祉大学校



▲窓口での個別相談



▲精神保健に関する啓発

県民の心と身体の健康を守る仕事です

保健福祉部
県東健康福祉センター
地域保健部
健康支援課
平成22年度入庁



主に、母子保健や精神保健福祉に関する業務を担当しています。面接や家庭訪問等による個別相談のほか、母子保健業務では、乳幼児二次健康診査や研修、会議の開催を担当しています。これらの事業を通して、こどもの発育発達に悩む保護者や心の問題を抱える子どもとその保護者が、必要なサポートを得て、健やかに生活できる地域を目指しています。職場は、明るい雰囲気、子育てにも理解があり、働きやすいと感じています。



臨床検査技師 33人

健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査などを行います。

- 主な勤務場所
感染症対策課、健康福祉センター、保健環境センター、衛生福祉大学校



▲細菌検査



▲PCR検査

専門性を生かして、幅広い分野で活躍できます！

保健福祉部
県南健康福祉センター
健康対策課
感染症予防チーム
平成24年度入庁



感染症発生時には、疫学調査や検査業務を通して原因究明や拡大防止に努めています。また、平時から福祉施設や保育施設の厨房の状況や感染対策について確認し、食中毒防止や感染症発生時に適切な対応ができるよう指導を実施したり、施設の職員を対象に感染症に関する研修会を開催しています。その他、窓口業務として、B型・C型肝炎により抗ウイルス薬の治療が必要な方に対して、助成制度の案内や申請受付を行っています。職場は風通しが良く、困ったときには相談をし合える環境です。



水産 15人

水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術、水産資源・生態系保全技術の開発などの試験研究のほか、地域振興につながる水産資源の活用方策などの普及啓発を行います。

- 主な勤務場所
農村振興課、水産試験場、農業振興事務所



▲県オリジナルブランド魚の開発



▲ドローンによるカワウ被害防止対策

管理栄養士 16人

健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。

- 主な勤務場所
健康増進課、医薬・生活衛生課、健康福祉センター



▲給食施設指導



▲健康づくりイベント

栄養士 県立学校勤務 1人、小・中学校勤務 41人

献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校給食を通して、子どもたちの成長をサポートします。※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。

- 主な勤務場所
県立学校／特別支援学校、定時制高校
小・中学校／市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター



▲給食室内での衛生管理



▲教科等における食に関する指導

職業訓練指導員 38人

「ものづくり県とちぎ」の産業を担う実践力を備えた人材の育成を行うため、産業技術専門学校において、就職等に必要の技術・技能の指導や、就職支援等の業務に従事します。

- 主な勤務場所
労働政策課、産業技術専門学校



▲産業用ロボット実習



▲機械工作実習

小中学校事務 459人

給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理、教育施設の維持・管理などを行います。学校運営を側面から支える仕事です。※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。

- 主な勤務場所
市町立の小学校、中学校、義務教育学校



▲職員室での文書の説明



▲事務に関する打合せ

獣医師

138人

家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。

●主な勤務場所

医薬・生活衛生課、畜産振興課、健康福祉センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター



▲病理検査



▲放牧場での衛生検査

とちぎの公衆衛生を支え、県民の生活を守ります

保健福祉部
県北健康福祉センター
生活衛生課
食品衛生担当
平成25年度入庁



食品衛生の担当として、飲食店や食品工場などの施設に対する衛生指導や立入検査を実施したり、これから営業を始めた方からの相談・申請受付業務を行ったりしています。食中毒や違反食品を探知した際には、原因調査や行政処分の対応も行います。

職場では、どの職員も普段から情報共有や効率化を意識し、働きやすい工夫をしています。子育て中の職員も多いため、急な予定変更にもお互い様という雰囲気でも対応していただけるので、とてもありがたいです。



薬剤師

89人

医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究などの業務を行います。

●主な勤務場所

医薬・生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター



▲医薬品製造業者の調査



▲試験研究

健康な暮らしを守るため公衆衛生分野で力を発揮!

保健福祉部
感染症対策課
感染症対策担当
平成25年度入庁



感染症対策の一つとして位置づけられる感染症発生動向調査を担当しています。様々な感染症の発生状況を把握・分析し、感染症の発生及びまん延防止を目的として、医療機関への情報提供、県民の皆さまへの注意喚起を行い、地域の健康を守る取組を行っています。

職場の同僚・上司は頼りになる方ばかりで、自分の抱えている課題や悩みごとは何でも相談できる、風通しの良い職場です。



※獣医師、薬剤師など、一部の職種の採用については、人事委員会が採用試験として実施するものとは異なり、所管部局が別途「選考考査」として採用を実施しています。詳細は県ホームページを御確認ください。

県の仕事についてさらに詳しく知りたい学生の方向け

インターンシップ

栃木県では、先輩職員との交流や職場(現場)見学・体験などへの参加を希望する大学生等の受入れを行っています。職場体験では、資料作成・企画立案・現地調査など受入所属によって様々なメニューが用意されています。

県庁を身近に感じ、県の業務や働く環境を理解する上で、またとない機会です。

日程・定員や申込期限など、
詳細はこちらをチェック

人事課ホームページ



〈参考〉令和6(2024)年度の実施状況

行政職

- 申込期間 6月上中旬
- 受入期間 8月下旬
- 対象者 学校教育法に規定する大学(大学院、短期大学含む)及び高等専門学校その他これらに準ずる教育機関に在籍する学生

●プログラム(4日間)

- 1日目 説明会、職場紹介
- 2日目 オリエンテーション、所属実習
- 3日目 所属実習
- 4日目 所属実習、交流会・報告会

技術職

- 申込期間 6月上旬～下旬
- 受入期間 8月～9月の3～10日間(実施機関により異なる)
- 対象者 行政職と同
- 対象職種

林業、化学、電気、機械、職業訓練指導員、総合土木、農業、畜産、水産、獣医師、建築

※このほか、半日又は一日単位で県の仕事内容をわかりやすく紹介する「技術職現場見学会」及び「障害者採用オープンゼミ」等を開催しました。

県職員Life Q&A

Q1 給与について教えてください。

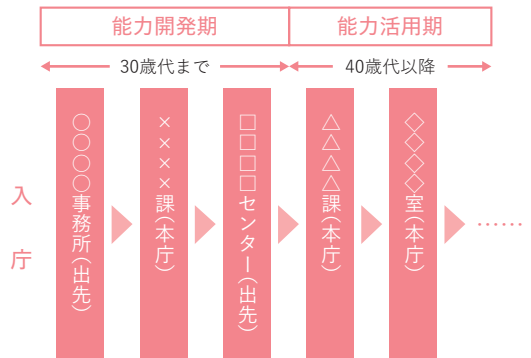
A 初任給は右の表のとおりとなっています。(令和7年1月現在。地域手当3.5%を含む。)勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、一定の基準により加算されます。
 家族構成や勤務状況等に応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当などが支給されます。また、民間のボーナスに当たるものとして期末・勤勉手当が6月と12月の年2回、合計で4.60か月分が支給されます(在職期間等によって異なります)。
 原則として年に1回、勤務成績等に応じて昇給があります。
 なお、給与は、民間給与の状況に応じて改定されます。

修士課程 修了者	研究職	269,617円
	医療職(2)	250,263円
6年制大学卒	医療職(2)	255,438円
4年制 大学卒	行政職	233,496円
	研究職	254,817円
	医療職(2)	240,637円
短大卒	行政職	214,659円
高校卒	行政職	201,307円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用。
 障害者を対象とする採用選考審査での採用者の初任給は、高校卒を基本として、職歴や学歴等を考慮の上、決定されます。

Q2 人事異動はどのように行われますか。

A 職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3~4年のサイクルで異動があります。
 能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。
 また、配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。異動に当たっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



Q3 研修制度について教えてください。

A **■ 研修所研修**
 採用時や採用3年目などに行う基本研修、昇任前に行う能力開発研修、新たに管理的役職に就いた職員などを対象に行う重点研修、職務に必要なスキルなどを学ぶ特別研修など、様々な研修を実施しています。
 新採用職員研修では、県職員としての基本的な知識・スキルを習得するとともに、グループワークなどにより、同期入庁者との絆を深めることができます。



新採用職員研修

■ 自己啓発支援

県行政に関する事項について自主的に研究を行う職員グループに対し、一部助成金の支援を行っています。また、指定通信教育機関の講座を割引で受講できる制度や、自治体大学のオンライン講座を受講できるe-ラーニング研修が用意されています。

■ 派遣研修

中央省庁における政策形成や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県庁では経験できない業務に従事することで、能力の開発を図るものです。

いずれも公募制で参加希望者を募集しています。

＜令和6(2024)年度における職員の主な派遣先＞

内閣府、内閣官房、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、林野庁、文化庁、デジタル庁、国土交通省、環境省、県内13市町、(株)足利銀行、日産自動車(株)、(株)JT B、東京海上日動火災保険(株)、(一財)自治体国際化協会、(一財)地域活性化センター

■ 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で指導担当者(メンター)等のフォローアップを受けながら事務処理等のスキルを身につけていきます。また、県は所管する法令や制度などが多岐にわたっているため、配属された各部局等において、それぞれ必要な研修を実施しています。

派遣研修 体験者の感想

民間企業派遣

担当プロジェクト以外でも、デジタル技術の様々な活用例に触れることができました。日本社会全体のDXが渴望される中、県職員としてあらゆる分野の仕事を進める上で、有益な情報を多く得ることができたと感じている。

中央省庁派遣

国に出向し、様々な省庁や自治体との調整を通じて得た経験は、国の制度を学ぶことはもちろん、全国の様々な自治体の事例に触れることができ、県に戻って事業立案をする場面等で生かしている。

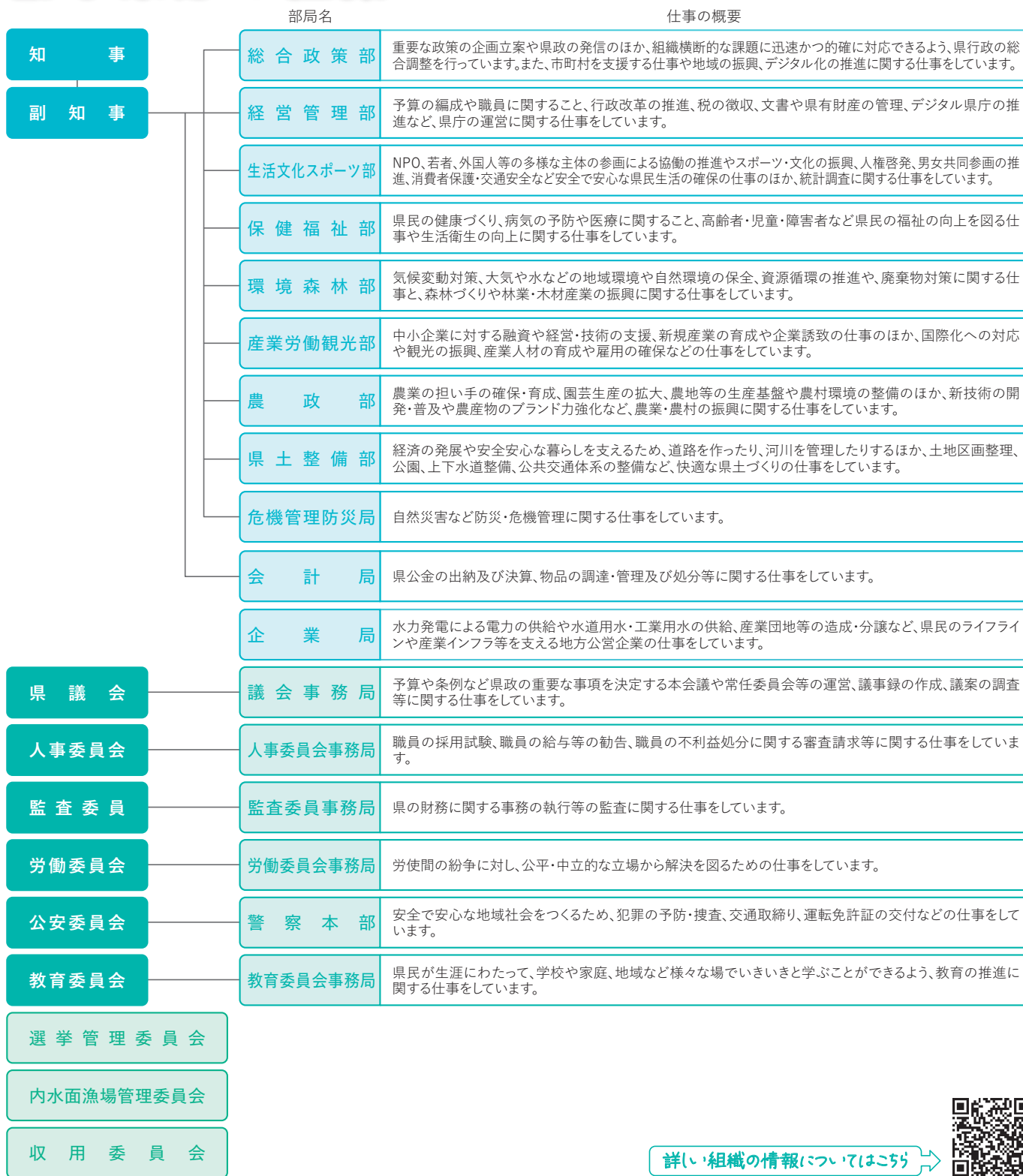
市町村派遣

市民との距離が近く、広報・窓口での取組や給付決定等に対し、反応が早く返ってくることを感じた。また、県で仕事をやる上で、市町との連携は必須。県の役割として、市町が動きやすくなるような仕事をしてほしいとよく言われた。

栃木県庁の組織

部局ごとの仕事の内容をチェック!

令和6(2024)年度



詳しい組織の情報についてはこちら



職員数・組織数 (令和6(2024)年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門……4,415人 教育部門……14,383人
警察部門……3,878人 公営企業部門……297人

●組織数(知事の事務部局)

本庁……8部2局64課室
出先機関……68

栃木県職員等過去3年間の募集状況 (令和3(2021)~令和5(2023)年度)



詳細はこちら

令和6(2024)年度 栃木県職員等採用試験・選考考査実施状況

【大学卒業程度】

職種	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
行政(特別枠※)	20名程度	20名程度	25名程度
行政	45名程度	35名程度	45名程度
行政(福祉型)	10名程度	5名程度	5名程度
化学	1~2名	5名程度	4名程度
農業	10名程度	13名程度	12名程度
畜産	8名程度	8名程度	3名程度
林業	8名程度	13名程度	15名程度
総合土木(特別枠※)	—	—	8名程度
総合土木	35名程度	26名程度	16名程度
建築	3名程度	4名程度	4名程度
建築(警察本部)	—	—	1名
電気	5名程度	5名程度	4名程度
機械	6名程度	4名程度	4名程度
心理	8名程度	5名程度	2名程度
警察行政	15名程度	7名程度	7名程度
小中学校事務	10名程度	3名程度	10名程度

※R6年度から「早期枠」に名称変更

【高校卒業程度】

職種	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
行政	5名程度	5名程度	5名程度
総合土木	5名程度	5名程度	5名程度
建築(警察本部)	—	1名	—
電気	1~2名	1~2名	1名
警察行政	5名程度	3名程度	5名程度
小中学校事務	3名程度	1名	4名程度

【資格・免許職】

職種	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
保健師	10名程度	12名程度	5名程度
管理栄養士	—	1名	1名
臨床検査技師	—	—	2名程度
栄養士(県立学校)	1名	1名	—
栄養士(小中学校)	5名程度	1名	3名程度

【社会人対象】

職種	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
行政	15名程度	10名程度	15名程度
林業	—	1~2名	2名程度
総合土木	5名程度	5名程度	5名程度
保健師	—	—	3名程度

【選考考査】

職種	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
歯科衛生士	—	1名	1名
職業訓練指導員(機械系)	2名	1名	1名
職業訓練指導員(建築系)	—	—	1名
学芸員(油彩画)	1名	—	—
学芸員(考古)	—	1名	—
繊維工業技術者	1名	1名	—
犯罪鑑識技術者(法医)	1名	—	—
犯罪鑑識技術者(物理)	1名	1名	—
犯罪鑑識技術者(化学)	—	—	1名
犯罪鑑識技術者(心理)	1名	—	—
少年補導職員	1名	3名程度	2名程度
行政(障害者対象)	5名程度	5名程度	5名程度
警察行政(障害者対象)	1~2名	1~2名	2名程度
小中学校事務(障害者対象)	1~2名	1~2名	1名

※獣医師、薬剤師等、所管部局が別途選考考査を実施している職種もあります。

【大学卒業程度】

職種	採用予定者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)	申込者数(人)
行政(早期枠)	25	521	118	42	12.4	565
行政	45	156	125	51	3.1	296
行政(福祉型)	5	10	3	3	3.3	16
化学	9	13	7	5	2.6	15
化学(追加秋季)	5	4	4	2	2.0	7
農業	21	29	19	13	2.2	34
農業(追加秋季)	8	15	13	7	2.1	21
畜産	7	5	3	2	2.5	7
畜産(追加秋季)	5	6	5	2	3.0	7
林業	10	13	11	8	1.6	16
林業(追加秋季)	3	2	2	2	1.0	6
総合土木(早期枠)	16	66	44	29	2.3	71
総合土木	16	10	8	6	1.7	29
総合土木(追加秋季)	5	2	2	1	2.0	10
建築	1	2	1	0	—	5
建築(警察本部)	1	—	—	—	—	0
電気	4	3	2	2	1.5	6
電気(追加秋季)	2	2	2	2	1.0	3
機械	1	1	1	1	1.0	5
心理	2	8	6	5	1.6	13
水産	1	3	2	2	1.5	3
警察行政	9	30	13	11	2.7	45
小中学校事務	10	33	26	12	2.8	53

【高校卒業程度】

職種	採用予定者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)	申込者数(人)
行政	5	33	17	8	4.1	36
総合土木	7	8	5	5	1.6	8
建築(警察本部)	1	3	3	2	1.0	4
電気	1	1	1	1	1.0	1
警察行政	5	26	15	4	6.5	30
小中学校事務	4	20	13	5	4.0	23

【資格・免許職】

職種	採用予定者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)	申込者数(人)
保健師	4	11	9	6	1.8	18
管理栄養士	3	21	9	4	5.3	29
臨床検査技師	2	2	2	1	2.0	2
診療放射線技師	2	3	3	2	1.5	4
栄養士(小中学校)	2	22	8	2	11.0	28

【社会人対象】

職種	採用予定者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)	申込者数(人)
行政	15	123	57	21	5.9	151
化学	2	12	11	4	3.0	12
農業	4	19	14	10	1.9	22
林業	2	1	1	0	—	1
総合土木	6	13	12	6	2.2	15
警察行政	5	23	8	1	23.0	31
保健師	2	12	8	2	6.0	13

【選考考査】

職種	採用予定者数(人)	受験者数(人)	第1次合格者数(人)	最終合格者数(人)	最終倍率(倍)	申込者数(人)
犯罪鑑識技術者(心理)	1	10	5	2	5.0	21
学芸員(油彩画)	1	2	2	1	2.0	4
埋蔵文化財発掘調査技術者	1	4	2	2	2.0	5
警察情報処理技術者	1	1	1	1	1.0	1
行政(障害者対象)	5	16	16	3	5.3	27
警察行政(障害者対象)	1	3	3	0	—	7
小中学校事務(障害者対象)	1	9	9	1	9.0	14

問い合わせ先

栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 南館1階
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318
e-mail jinjiin@pref.tochigi.lg.jp

発行2025年2月